


6. 石に刻まれた不変のもの

このページのプリント 

何世紀も前に、神は石に神の律法を書かれましたが、それは今でも守るべきものなのです！ 神の律法のどの部分であっても破ることは、常に好ましくない結果をもたらすことは確かなことです。犯罪が私たちの町にはびこるほど、平和と安全のために、その地の法律に従う必要があるのは当然のことではないでしょうか？さて、神の律法、つまり十戒においても同じ原則が、私たちの人生に当てはまるのです！十戒は、十の示唆とか十の推薦項目、あるいは十の最も偉大な意見とは呼ばれてはいません。それは非常に多くの事柄が関与していますので、少しの時間をさいて、真剣にあなたの義務を考慮されるべきではないでしょうか！



1. 本当に、神ご自身が十戒を書かれたのですか？



「その板は神の作」であった。

「主はシナイ山でモーセに語り終えられたとき、あかしの板二枚、すなわち神が指をもって書かれた石の板をモーセに授けられた。」出エジプト記 31:18 「その板は神の作、その文字は神の文字であって、板に彫ったものである。」出エジプト記 32:16

答え： そうです、偉大な天の神が、ご自身の指で、石の板に十戒を書かれました。

2. 神が述べておられる罪の定義は何ですか？

「罪とは律法を犯すことである。」ヨハネの第一の手紙 3:4 (欽定訳聖書)

答え： 罪とは神の十戒を破ることです。神の戒めは完全でありますので(詩篇 19:17)、それは考えられるありとあらゆる罪を含んでいます。神の十戒に書かれている項目のどれかによって裁かれないような罪を犯すことは不可能です(つまりすべて犯す罪は十戒のどれかによって裁かれる)。十戒は伝道の書 12:13 で、「その命令を守れ。これはすべての人の本分である。」と書かれていますので、除外されるべきものではありません。



神は、罪とは神の律法を犯すことであると言われる。

3. なぜ神は、十戒を人間に与えられたのですか？



「律法を守る者はさいわいである。」箴言 29:18。「わたしの戒めを心にとめよ。そうすれば、これはあなたの日を長くし、命の年を延べ、あなたに平安を増し加える。」箴言 3:1, 2

答え：A. 幸福と豊かな生活のための道しるべ。

神は、私たちが幸福で、安らかで、長寿と満足感、達成感、そのほか心が慕い求める大いなる祝福をすべて楽しむことが出来るように、私たちを創造されました。神の律法は、真の、そして最上の幸福を得るための道を示す道しるべです。

「律法によっては、罪の自覚が生じるのみである。」ローマ人への手紙 3:20 「律法によらなければ、わたしは罪を知らなかったであろう。すなわち、もし律法が、「むさぼるな」と言わなかったなら、わたしはむさぼりなるものを知らなかったであろう。」ローマ人への手紙 7:7

神の律法を守る人々に幸福が伴う。

B. 善と悪の相違を示す。

神の律法は、鏡のようなものです(ヤコブの手紙 1:23-25)。私の顔についている汚れが鏡でわかるように、律法は私の誤った行いを指し示してくれます。人が罪を犯しているかどうかを知る唯一の方法は、神の律法の鏡によって自分の生活を調べることです。この沈み行く混乱した世代の唯一の希望は、神の十戒にあることがわかります。律法によって善悪を区別できるのです！

「そして主はこのすべての定め【戒め】を行えと、われわれに命じられた。これは...われわれが、つねにさいわいであり、また今日のように、主がわれわれを守って命を保たせるためである。」申命記 6:24 「わたしをささえてください。そうすれば、わたしは安らかで、常にあなたの定め【戒め】に心をそそぎます。すべてあなたの定めから迷い出る者をあなたは、かろしめられます。」詩篇 119:117, 118



神の律法は、幸福で豊かな生活への神の道路地図である。

C. 私たちを危険と惨事から守るため。

神の律法は、私たちが恐ろしく、獰猛な動物たちから守ってくれる動物園の頑丈な檻のようなものです。神の律法は、不道徳や虚偽、殺人、姦淫、窃盗、その他の人生を台無しにし、平安と幸福を奪う多くの悪から私たちを守ってくれます。すべての適切な法律は人々を保護します、神の律法も決して例外ではありません。

特記事項： 神の律法の永遠の原則は、私たちが創造された神ご自身によって、すべての人間の性質の奥底に書かれています。それは薄汚れているかもしれませんが、まだ存在しているのです。つまり、あなたは神があなたの内なる性質に書き込まれた原則に調和した生活をしよとしないならば、真の平和を見出すことができないということなのです。私たちは、それらの原則に一致して生きるように創造されました。私たちがそれらの原則を軽んじることを選ぶならば、その結果は常にストレス、不安そして悲劇です。それはちょうど、安全運転の規則を破って車を運転する時に深刻な問題が生じると同じことです。

4. なぜ神の律法は、私個人にとってそれほど大切なものなのですか？



動物園にある檻が、私たちがライオンから守るように、律法は悪魔から私たちを守る。

「だから、自由の律法によってさばかるべき者らしく語り、かつ行いなさい。」ヤコブの手紙 2:12

答え： なぜなら十戒は、天の法廷において、神が人々をお調べになる基準となるものだからです。あなたはその基準にかなっていますか？ これは生死に関わる事柄です！

5. 神の律法（十戒）は、変更したり、廃止したりすることができますか？



十字架は、律法が不変であることの確かな証拠である。

「しかし、律法の一画が落ちるよりは、天地の滅びる方が、もつとやすい。」ルカによる福音書 16:17 「わたしはわが契約を破ることなく、わがくちびるから出た言葉を変えることはない。」詩編 89:34 「すべてのさとし(戒め - 欽定訳聖書)は確かである。これらは世々かぎりなく堅く立ち」詩篇 111:7, 8

答え： それは決してできません！ 聖書はこの点でとても明白です。もし律法を変更することが可能であったならば、神は、罪人の律法違反の刑罰の償いとして死ぬためにこの世に御子をお遣わしにならずに、アダムとエバが罪を犯した直後に律法を変更なさっていたことでしょう。しかしながら律法を変更することは不可能でした、なぜなら戒めは、理にかなった規定とか規則などとして制定されたものではないからです。神の律法は、神が存在なさる限り、常に真理であられる神の聖なるご品性の原則の表れです。

下記のチャートをご覧になり、神のご性質と律法の特質が同じものであることにお気づきください。これがどのような意味かわかりになりますか？十の戒めである律法は、文字によって書き表された神のご品性で、それによって私たちが神のご品性を理解できるのです。神を天から引きずり下ろして神を変えることが不可能であるように、神の律法を変更することは不可能なのです。イエスが人間の姿を取りこの世に来られたのは、律法（それは聖なる生き方の模範）がどのようなものであるのかを私たちに示すためでした。神のご品性は決して変えることはできません。同様に人間の言葉で表された神のご品性である律法も変えることはできません。

	神	律法
良い(善)	ルカによる福音書 18:19	テモテへの第一の手紙 1:8
聖	イザヤ書 5:16	ローマ人への手紙 7:12
完全	マタイによる福音書 5:48	詩篇 19:7

清い	ヨハネの第一の手紙 3:2,3	詩篇 19:8
正しい(義)	申命記 32:4	ローマ人への手紙 7:12
真実	ヨハネによる福音書 3:33	詩篇 19:9
霊的	コリント人への第一の手紙 10:4	ローマ人への手紙 7:14
正義	エレミヤ書 23:6	詩篇 119:172
真実	コリント人への第一の手紙 1:9	詩篇 119:86
愛	ヨハネの第一の手紙 4:8	ローマ人への手紙 13:10
不変	ヤコブの手紙 1:17	マタイによる福音書 5:18
永遠	創世記 21:33	詩篇 111:7,8

6. イエスがこの地上におられたときに律法を無効にされましたか？

「わたしが律法や預言者を廃すためにきた、と思ってはならない。廃するためではなく、成就するためにきたのである。... 天地が減び行くまでは、律法の一点、一画もすたすたすることはなく、ことごとく全うされるのである。」マタイによる福音書 5:17, 18

答え：まったくそのようなことはありません！ イエスは、律法を廃するためではなく、律法を成就(守る)するために来られたことを明確に断言なさいました。イエスは律法を廃止するのではなく、正しい生き方の完璧な指針として律法をおおいなるものとされました(イザヤ書 42:21)。たとえば、「理由なく」(マタイによる福音書 5:21,22 注:日本語の聖書ではこの言葉が抜けています)怒ること、兄弟を憎む(ヨハネの第一の手紙 3:15)ことは、「あなたは殺してはならない」という戒めによって罪に定められること、情欲を抱いて女を見ることも姦淫で(マタイによる福音書 5:27,28)あることをイエスは指し示されました。「もしあなたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」(ヨハネによる福音書 14:15)とイエスは言われます。



イエスは人間の姿をとった律法である。イエスが心に宿られるならば律法を守ることが喜びとなる。

7. 神の戒めの中のひとつを知りながら破り続けていても、人は救われるのでしょうか？



律法は一本の鎖のようなものである。ひとつのつなぎ目が壊れてしまうならば鎖としての機能が果たせなくなる

「罪の支払う報酬は死である。」ローマ人への手紙 6:23 「彼(神)は、罪人を滅ぼす。」イザヤ書 13:9 (欽定訳聖書) 「律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落ち度があれば、全体を犯したことになるからである。」ヤコブの手紙 2:10

答え：その人は失われてしまいます。十の戒めである律法は、私たちが神、そして清い生活への道を見出すために用いるべき指針です。もし戒めのひとつでも軽んじるのであれば、神の神聖なご計画の一部を退けることになってしまうのです。一本の鎖のつなぎ目が壊れてしまうならば、鎖としての機能が果たせなくなります。神のどの戒めでも故意に破るならば罪を犯していることであると聖書は言っています(ヤコブの手紙 4:17)。なぜなら私たちに對する神の御心を拒むことになるからです。神の御心を行う人だけが天の王国に入ることができるのです。罪人は失われてしまうことになるでしょう。

8. 律法を守ることによって人は救われますか？

「なぜなら、律法を行うことによって、すべての人間は神の前に義とせられないからである。」ローマ人への手紙 3:20 「あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。」エペソ人への手紙 2:8, 9

答え：答えは間違えようのないほど明らかです。律法を守ることによって救われる人はひとりもいません。救いは恵みによるイエス・キリストの無料の賜物であり、私たちはこの賜物を行いではなく信仰によって受け取るのです。律法は、ただ私たちの生活上の罪を指摘する鏡の役割を果たすためにあります。罪からの清めとゆるしは、イエスを通してのみ与えられるものです。



イエスによる救いは、特別な休日や誕生日にもらう贈り物と同じように本物の贈り物である。それは、イエスが私たちのために特別に準備してくださった無料の贈り物である。

9. それでは、なぜ、私たちがクリスチャンとしての品性を完成させるために律法が絶対的に不可欠なのでしょうか？



自分自身の基準は決して安全ではない。私は完璧な基準である神の律法の鏡を注意深く見なければ、自分が罪人かどうかを知ることはできない。

「神を恐れ、その命令を守れ。これはすべての人の本分である。」伝道の書 12:13 「律法によっては、罪の自覚が生じるのみである。」ローマ人への手紙 3:20

答え：

それは、クリスチャン生活の完全な模範、「すべての人の本分(義務)」が、神の律法に含まれているからです。六歳の子供が自分の物差しを作り、身長を測って、母親に自分の身長は12フィート(約3.6メートル)だと言うことと同じで、私たち自身の基準は決して安全ではありません。完璧な基準である律法という鏡を注意深く見なければ、自分が罪人かどうかを知ることはできません。イエスの名によって悪霊を追い出し、預言をし、多くの力あるわざをした無数の人々が失われてしまうでしょう(マタイによる福音書 7:21-23)、なぜなら彼らは、神の律法の模範に自分自身の生活を照らし合わせて吟味することをしなかったからなのです。したがって、彼らは実際に罪深く、失われていたにもかかわらず、自分は正しく救われていると思い込んでいたのです。「わたしたちが彼の戒めを守るならば、それによって彼を知っていることを悟るのである。」ヨハネの第一の手紙 2:3

10. 本当に回心したクリスチャンが、神の律法の模範に従うことを可能にするものは何ですか？

「わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつけよう。」へブル人への手紙 8:10 「わたしは、キリストによって何事でもすることができ。」ピリビ人への手紙 4:13(欽定訳聖書) 「御子を、罪の肉の様に罪のためにつかわし...これは律法の要求が、肉によらず霊によって歩くわたしたちにおいて、満たされるためである。」ローマ人への手紙 8:3, 4

答え：キリストは、悔い改めた罪人をおゆるしになるだけではなく、彼らの中に神のみ姿を回復してください。キリストが彼らの内にご臨在される力によって、神の律法との調和をもたらしてください。ですから、「あなたは...してはならない」という戒めの中のお言葉は、クリスチャンは、盗む、うそを言う、殺すなどのことをするのではないというお約束になるのです。なぜならイエスとその人の中に住み、支配して下さるからです。神は律法を変更することはおできになりませんが、イエスを通して、罪人を律法に調和するように変えてくださるという恵みの計画をお持ちでした。



イエスが心に住まわれると、暗く醜い過去は、イエスの勝利の内住により変わる。



律法は、私たちの人生において、罪を指摘する鏡としての役割を果たす。そのように、悔い改めた罪人が、イエスのもとに来る時、イエスはご自分の内住の力を通して罪人を神の律法と調和するように導くことによって、彼らの中に神のみ姿を回復させる。

11. 信仰によって恵みのもとにいるクリスチャンは、律法を守ることは不要ではないのでしょうか？



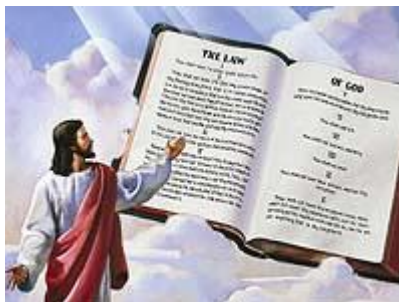
州(または県)知事は、囚人を放免するであろうが、彼はただ一つの律法でも破る自由は与えられていない。

「なぜなら、あなたがたは律法の下にあるのではなく、恵みの下にあるので、罪〔律法を犯すこと-ヨハネの第一の手紙 3:4(欽定訳)]に支配される事はないからである。それでは、どうなのか。律法の下ではなく、恵みの下にあるからといって、わたしたちは罪を犯すべきであろうか。断じてそうではない。」ローマ人への手紙 6:14, 15 「すると、信仰のゆえに、わたしたちは律法を無効にするのであるか。断じてそうではない。かえって、それによって律法を確立するのである。」ローマ人への手紙 3:31

答え： 聖書はまったくその反対を教えています。恵みとは、知事が囚人をゆるすようなものです。恵みは囚人をゆるしますが、彼が法令集に記されている規則の一つとして破る自由を与えるものではありません。神の恵みの下に生きて、ゆるしを得ている人は、神の律法を守るのに二重の義務を背負っていることになるのです。神の恵みの下に生きていると公言して、神の律法を守ることを拒む人は過ちを犯しています。彼らは神の恵みの下ではなく、神を辱めるために生きていることになるのです。

12. 神の十戒は、新約聖書においても守るべきものであるということが再び確認されていますか？

答え： とても明確に示されています。次の項目を注意深く調べて下さい。



新約聖書の中の神の律法	旧約聖書の中の神の律法（十戒）
1. 「主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ」 マタイによる福音書 4:10	1. 「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。」出エジプト記 20:3
2. 「子たちよ、気をつけて、偶像を避けなさい。」ヨハネの第一の手紙 5:21 「このように、われわれは神の子孫なのであるから、神たる者を、人間の技巧や空想で金や銀や石などに彫り付けたものと同じと、見なすべきではない。」使徒行伝 17:29	2. 「あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水のなかにあるもの、どんな形をも造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、わたしを憎むものには、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼし、わたしを愛し、わたしの戒めを守るものには、恵みを施して、千代に至るであろう。」出エジプト記 20:4-6
3. 「くびきの下にある奴隷はすべて、自分の主人を、真に尊敬すべき者として仰ぐべきである。それは、神の御名と教とが、そしりを受けないためである。」テモテへの第一の手紙 6:1	3. 「あなたは、あなな神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱えるものを、罰しないでは置かないであろう。」出エジプト記 20:7
4. 「すなわち、聖書のある箇所、七日目のことについて、『神は、七日目にすべてのわざをやめて休まれた』と言われており」 「こういうわけで、安息日の休みが、神の民のためにまだ残されているのである。なぜなら、神の安息に入った者は、神がわざをやめて休まれたように、自分もわざを休んだからである。」ヘブル人への手紙 4:4, 9, 10	4. 「安息日を覚えて、これを聖とせよ。六日のあいだ働いてあなたのすべてのわざをせよ。七日目はあなたの神、主の安息であるから、なんのわざをもしてはならない。あなたもあなたのむすこ、娘、しもべ、はしため、家畜、またあなたの門のうちにいる他国の人もそうである。主は六日のうちに、天と地と海と、その中のすべてのものを造って、七日目に休まれたからである。それで主は安息日を祝福して聖とされた。」出エジプト記 20:8-11
5. 「父と母を敬え。」マタイによる福音書 19:19	5. 「あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜る地で、あなたが長く生きるためである。」出エジプト記 20:12
6. 「殺すな。」ローマ人への手紙 13:9	6. 「あなたは殺してはならない。」出エジプト記 20:13
7. 「姦淫するな。」マタイによる福音書 19:18	7. 「あなたは姦淫してはならない。」出エジプト記 20:14
8. 「盗むな。」ローマ人への手紙 13:9	8. 「あなたは盗んではいけない。」出エジプト記 20:15
9. 「偽証をたてるな。」ローマ人への手紙 13:9(欽定訳聖書 - 訳注: 口語訳ではこの言葉が省かれています)	9. 「あなたは隣人について偽証してはならない。」出エジプト記 20:16
10. 「むさぼるな。」ローマ人への手紙	10. 「あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣

7:7

人の妻、しもべ、はしため、牛、ろば、またすべての隣人のものをむさぼってはならない。」出エジプト記 20:17

13. 神の律法とモーセの律法は同じものですか？

答え：それらは同じものではありません。下記の参照を注意深く比較してみてください。

参照：モーセの律法は一時的なものであり、旧約聖書の礼典律です。それは、祭司職、供え物、儀式、飲食の捧げ物等の規定で、それらすべてはキリストの十字架の犠牲を示す影でした。この律法は、「子孫が来るまで」加えられたものであり、その子孫とは、キリストのことです（ガラテヤ人への手紙 3:16, 19）。モーセの律法の犠牲や儀式は、来るべきキリストの犠牲を指し示していました。キリストが死なれたとき、この律法は廃止されましたが、十戒（神の律法）は、「世々かぎりなく堅く立つ」（詩編 111:8）のです。ダニエル書 9:10, 11 において、二つの律法があることが非常に明確にされています。



特記事項：神の律法は、少なくとも罪が存在する限り、神の律法も存在しているということに注目してください。聖書は、「律法のないところには違反〔罪〕なるものはない。」と言っています（ローマ人への手紙 4:15）。ですから神の十戒は、世の始めから存在していたということです。人間はその律法を犯しました（つまり罪を犯した -- ヨハネの第一の手紙 3:4）。この罪（あるいは、神の律法の違反）のために、モーセの律法が、キリストが死ぬために来られるまで与えられ（あるいは加えられ -- ガラテヤ人への手紙 3:16, 19）ました。神の律法とモーセの律法として区別された二つの律法は関連しています。

儀式の犠牲は、来るべきイエスの犠牲を指し示していた。

モーセの律法

「モーセの律法」と呼ばれた（ルカによる福音書 2:22）
「規定から成っている律法」と呼ばれた（エペソ人への手紙 2:15）
モーセによって書に書かれた（歴史下 35:12）
契約の箱のかたわらに置かれた（申命記 31:26）
十字架で破棄された（エペソ人への手紙 2:15）
罪のために加えられた（ガラテヤ人への手紙 3:19 欽定訳聖書参）
私たちを責めて不利に陥れる（コロサイ人への手紙 2:14）
誰をも裁かない（コロサイ人への手紙 2:14-16）
肉に属する（ヘブル人への手紙 7:16）
何も完全にしない（ヘブル人への手紙 7:19 欽定訳聖書参）

神の律法

「主の律法」と呼ばれた（イザヤ書 5:24）
「尊い律法」と呼ばれた（ヤコブの手紙 2:8）
神によって石の上に書かれた（出エジプト記 31:18; 32:16）
契約の箱の中に入れられた（出エジプト記 40:20）
永遠に存続する（ルカによる福音書 16:17）
罪を指摘する（ローマ人への手紙 7:7; 3:20）
難しいものではない（ヨハネ第一の手紙 5:3）
全ての人を裁く（ヤコブの手紙 2:10-12）
霊的（ローマ人への手紙 7:14）
完全（詩篇 19:7）

14. 神の十戒の模範に従って生活している人々に対して、悪魔はどのような思いを抱いているのでしょうか？



「龍は、女【真の教会】に対して怒りを発した。」

「龍は、女に対して怒りを発し、女の残りの子ら、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかしを持っている者たちに対して、戦いをいどむために、出て行った。」ヨハネの黙示録 12:17 「ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある。」ヨハネの黙示録 14:12

答え：神の律法は、正しい生き方の原則、模範なので、悪魔は神の戒めを遵守する人々を憎みます。もしあなたが神の律法に示されている原則に従う決心をするならば、すぐにあなたに対する激しい悪魔の怒りを感じることでしょう。悪魔が神の律法を守るすべての人々に激しく敵対し、憎むことは驚くには及びません。しかしながらショッキングで大変驚くべきことに、宗教指導者たちは、人間の作った言い伝えや伝統を守りながら、遵守義務のある十戒を守ることを拒否していることです。イエスが「なぜ、あなたがたも自分たちの言い伝えによって、神のいましめを破っているのか」、「人間のいましめを教えとして教え、無意味にわたしを拝んでいる。」マタイによる福音書 15:3, 9 と言われたのは当然のことです。そしてダビデも、「彼らはあなたのおきてを破りました。今は主の働かれる時です。」詩篇 119:126 と言っています。クリスチャンたちは目覚めて、神の律法を正当な高い位置に戻さなければなりません。規律のないこの世代の人々が、生ける神の律法を破っても何の刑罰も受けることはないと思込んでいるのは愚かなことです。

15. 私は、クリスチャンは、神の十戒に服従すべきであることを信じます。そして私の人生が、十戒と調和したものになるようにイエスに助けを求めます。



答え：

- はい
- いいえ

質問

1. 聖書は律法には欠陥や誤り(fault)があると言っていないか？

ヘブル人への手紙 8:8

聖書は、人々に欠点や過ちがあると言っています。神は「彼らを責め(英:彼らに過ち fault) 」ヘブル人への手紙 8:8 と聖書に書かれており、ローマ人への手紙 8:3 では、律法が「肉により無力になった」と言っています。これは聖書においてはよく繰り返されるストーリーです。律法は完全ですが、人々に欠陥や過ち、そして弱さがあるのです。ですから神は、御子を神の子らの中に住まわせ、キリストの内住によって「律法の要求が ... 満たされる」ようになさいました(ローマ人への手紙 8:4)。

2. ガラテヤ人への手紙 3:13 の「わたしたちを律法ののろいからあがない出して下さった」という言葉の意味を説明してくださいませんか？

ガラテヤ人への手紙 3:13

律法ののろいとは、死です(ローマ人への手紙 6:23)。キリストは、「すべての人のために死を味わわれ」(ヘブル人への手紙 2:9)しました。つまりキリストは、律法ののろい(死)からすべての人を贖ってくださり、その死の代わりに永遠の命を与えてくださったということなのです。

3. コロサイ人への手紙 2:14-17 とエペソ人への手紙 2:15 は、神の律法が十字架で終わったと教えているのではないですか？

エペソ人への手紙 2:15

これら二つの聖句は、犠牲制度と祭司職を取り仕切るための礼典律である「規定」から成っている戒め、またはモーセの律法に関して述べています。この犠牲制度と儀式は十字架の予告であり、神が意図されたようにキリストの十字架で終了しました。モーセの律法は、「子孫が来るまで」加えられたものであって「子孫 ... はキリストのことであり。」と書かれています(ガラテヤ人への手紙 3:19, 16)。十字架の何年も後にパウロが述べている、聖で、正しく、善なる神の律法のことをこの聖句で言っているわけではありません(ローマ人への手紙 7:7,12)。

4. 聖書は、「愛は律法を完成する」ローマ人への手紙 13:10 と言っています。また、マタイによる福音書 22:37-40 では、神と隣人を愛することを命じており、「これらの二つのいましめに、律法全体と預言者が、かかっている」と最後に言っています。これらのいましめを十戒の代わりとしたのでしょうか？

マタイによる福音書 22:40

十戒の代わりではありません。私たちの十本の指が、二つの手から出ているように、十戒はこれらのふたつの戒めから出ているということです。これらを切り離すことはできません。神への愛が、初めの四つの戒め(神に関すること)を守ることに幸福と満足感をもたらし、隣人への愛は、最後の六つの戒め(周囲の人々に関すること)を守ることを喜びとさせるのです。律法を守ることが重荷から喜びとなると、愛は律法を完成するのです(詩篇 40:8)。私たちが本当に人を愛すると、その人の要請を尊重することは喜びとなります。イエスは、「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」(ヨハネによる福音書 14:15)と言われました。主を愛しているのに主の戒めを守らないということは不可能です、なぜなら聖書には「神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることであり。そして、その戒めはむずかしいものではない」(ヨハネの第一の手紙 5:3)と書かれているからです。「『彼を知っている』と言いながら、その戒めを守らない者は、偽り者であって、真理はその人のうちにない。」(ヨハネの第一の手紙 2:4)

5. コリント人への第二の手紙 3:7 で、石に彫りつけた律法は、「消え去」ったと教えているのではないのですか？

コリント人への第二の手紙 3:7

この聖句では、律法ではなく、律法に対するモーセの働き「栄光」が消え去ったと言っています。もう一度コリント人への第二の手紙 3:3-9 を注意深くお読みください。この聖句の主旨は、律法や律法の体系を廃するというのではなく、律法を書きつける場所を、「石の板」から「心」に変えることなのです。モーセの働きにおいて律法は石の上に書かれていました。キリストを通しての聖霊の働きでは、律法は心に書き付けられるのです(ヘブル人への手紙 8:10)。学校の掲示板上に掲げられている規則は、生徒の心に入るときにのみ功を奏します。キリストの律法における奉仕では、律法をクリスチャンの心に移して下さるので実を結ぶことになるのです。これがなされると、クリスチャンは神と人へ真の愛を持つようになるので、律法を守ることは、喜びと楽しみをもたらす歩みとなります。

6. ローマ人への手紙 10:4 で、「キリストは ... 律法の終りとなられたのである」と述べられています。ですから律法は終わったのではないのですか？

ローマ人への手紙 10:4

この聖句の「終わり」という意味は、ヤコブの手紙 5:11 にあるように目的、または結末ですのでその意味は明らかです。人々をキリストに導き -- そして彼らは義を見出す -- これがゴールであり目的で、これが律法の終りということなのです。

7. なぜ、多くの人々は神の律法に要求されていることや義務を拒むのでしょうか？

ローマ人への手紙 8:7

「なぜなら、肉の思いは神に敵するからである。すなわち、それは神の律法に従わず、否、従い得ないのである。また、肉にある者は、神を喜ばせることができない。しかし、神の御霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉におるのではなく、霊におるのである。もし、キリストの霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではない。」ローマ人への手紙 8:7-9

8. 旧約聖書の義人たちは律法によって救われたのですか？

テモテへの第二の手紙 1:9

律法によって救われた人は、いまだかつてだれもいません。すべての時代において救われた人々は、みな神の恵みによって救われました。この「恵みは、この世が始まる以前に、キリスト・イエスにあってわたしたちに与えられていたものです。」（テモテへの第二の手紙 1:9 欽定訳聖書）律法の役割は罪を指摘することのみです。キリストだけが人を救うことができます。ノアは「恵みを得」（創世記 6:8）；モーセも「恵みを得」（出エジプト記 33:17）；荒野のイスラエル人も「恵みを得」ました。（エレミヤ書 31:2）；また、ヘブル人への手紙 11 章によりますと、アベル、エノク、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ、そしてそのほかの多くの旧約聖書の英雄たちは「信仰によって」救われました。彼らは来たるべき十字架を望み見て救われました。そして私たちは、成就された十字架の贖いに目を向けることによって救われるのです。鏡のような役割をしてくれる律法は必要です、なぜなら私たちの人生の「汚れ」を明らかにしてくれるからです。律法がないならば、人々は罪人であるにも関わらずそのことを気付かずにいることになってしまいます。しかしながら、律法に人を救う力はなく、それはただ罪を指摘するのみです。イエスのみが人を罪から救うことができるのです。これは常に真実であり、旧約聖書の時代にあってもそうでした（使徒行伝 4:10, 12；テモテへの第二の手紙 1:9）。

9. なぜ律法について心配するのですか？ 良心は、セーフガイド（安全指針）ではないのですか？

箴言 14:12

いいえ！絶対に、絶対に違います！ 聖書は、悪い良心（ヘブル 10:22 欽定訳参）、汚れた良心、また、焼印を押された良心に関して語っています。それらはすべて安全ではありません。「人が見て自ら正しいとする道でも、その終りはついに死に至る道となるものがある。」箴言 14:12 「自分の心を頼む者は愚かである、知恵をもって歩む者は救を得る。」箴言 28:26

クイズ

1. 十戒は、だれによって書かれましたか？(1)

- 神
- モーセ
- 無名の人

2. 聖書によると、罪とは何ですか？(1)

- 品性の欠陥。
- 神の律法を破ること。
- 間違っているように思われるものすべて。

3. 神の律法に関して正しい文章は？(4)

- 幸福な生活の完全な案内書。
- 鏡のように、罪を指摘する。
- 重荷であり、圧倒される。
- 悪から守ってくれる。
- 神のご品性と同じである。
- 新約聖書では廃止された。
- のろいである。

4. 神の十戒は (1)

- 旧約聖書の時代だけのためのもの。
- イエスの十字架の死で廃止された。
- 絶対的に不変のものである。

5. 裁きの日に、私が救われる理由は (1)

- 私がなした良い行いの優れた記録を保持しているため。

- 十戒に服従するしないに関わらず、私が主を愛しているため。
- 私のイエスとの個人的な愛の関係によって、神のすべての戒めに服従することに導かれるため。

6. 人が救われるのは (1)

- 律法を守ることによって。
- 律法を破ることによって。
- イエス・キリストによってのみ。

7. 真に改心した人は (1)

- イエスの恵みの力で神の律法を守る。
- 律法は廃止されたので無視する。
- 十戒を守ることは不必要と考える。

8. 神の恵みのうちに生きる人は (1)

- 十戒を破ってもよい。
- 十戒を守ることは免除される。
- 喜んで十戒を守る。

9. 愛は律法を完成する、なぜなら (1)

- 愛は律法を廃止する。
- 神と人への真の愛は、律法を守る事が喜びとなる。
- 愛は服従よりもっと大切である。

10. モーセの律法は (1)

- 神の律法と同じ。
- キリストの犠牲の死を将来に指し示した犠牲制度と聖所の奉仕の律法。
- 今も、守るべき律法。

11. 神の十戒に従う人々は (1)

- 皆、律法主義者である。
- 神と神の律法を憎む悪魔によって激しく抵抗される。
- 律法を守ることによって救われる。

12. キリストと律法に関する正しい文章を選んでください。 (4)

- イエスは律法を破られた。
- イエスは律法を守る人間の完全な模範である。
- イエスは律法を廃止された。
- イエスは「もしあなたがわたしを愛するならば、わたしの戒めを守るべきである」と言われた。
- イエスは律法を拡大して解釈され、それがすべての罪を含むことを示された。
- イエスは律法を変更することはできないと言われた。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.